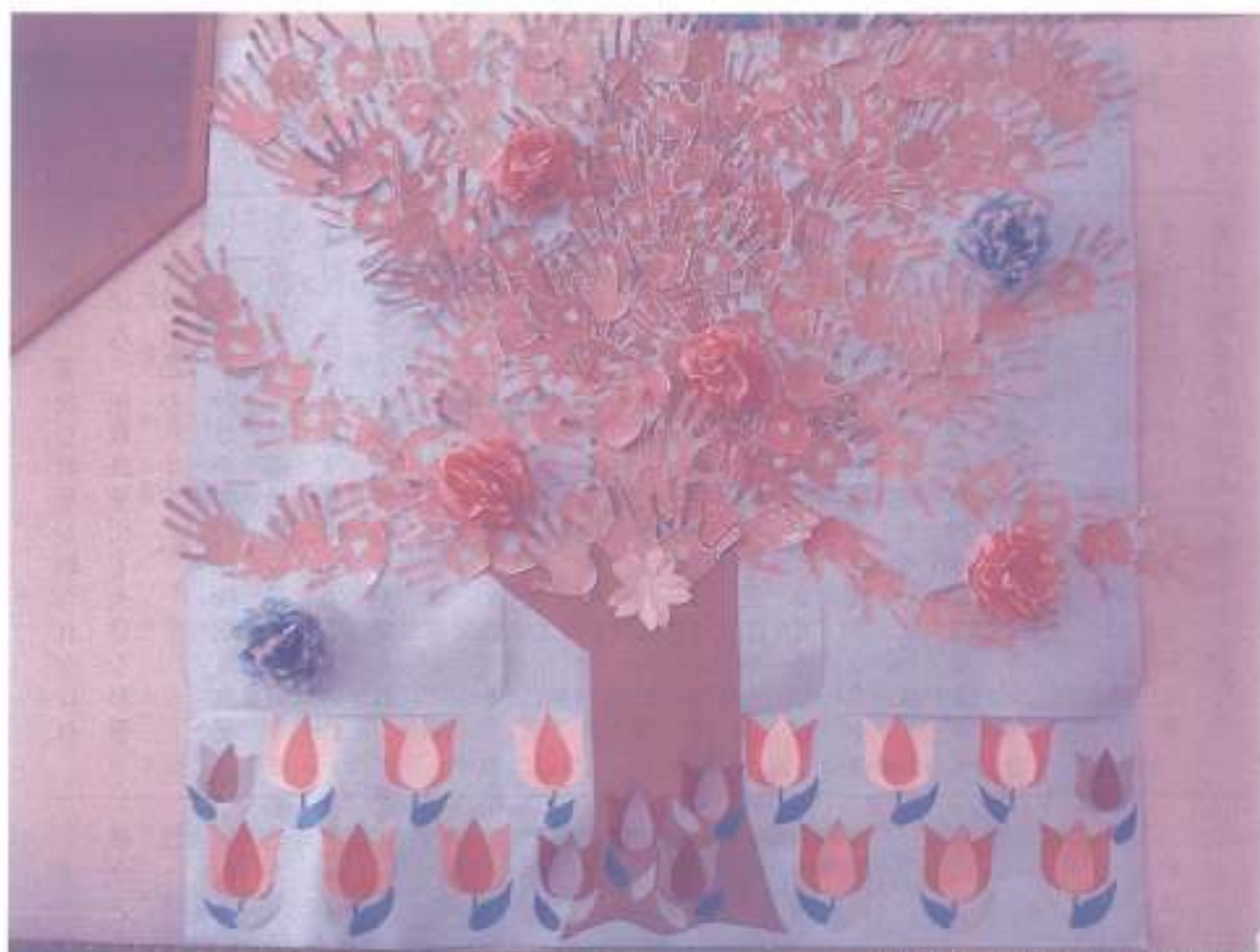


ふれあい新聞

春号



「かみさの家に春が来たよ」

発行日 令和2年4月 1日 第77号
発行 社会福祉法人 瑞穂会
ふれあい新聞編集部
本 部 〒444-0936
岡崎市上佐々木町字大官 49 番地
TEL (0564) 34-3666
FAX (0564) 34-2347

令和2年度に向けて

社会福祉法人 瑞穂会

特別養護老人ホーム やはぎ苑

理事長兼施設長 手嶋 寛人

新年度を迎えるにあたり、日ごろ私たち社会福祉法人瑞穂会の法人・施設運営に対し、ご利用者・ご家族の皆様方、地域の皆様並びに関係諸機関の皆様のお力添えをいただきまして誠にありがとうございます。

さて、本来ならこの夏、日本中が大いに盛り上がったであろう東京オリンピック・パラリンピックの開催も残念ながら延期となり、昨年12月、中国で発生した新型コロナウイルスは、4月を迎えても未だに世界中で猛威を振るい一向に収まる兆しが見えないでいます。

日本でも、新型コロナウイルスの感染拡大で国内の消費は落ち込み、経済に深刻な影響が出ています。

今後、有効な対策が取られなければ、法人・施設経営にも大きな影響がでると思われれます。

また、令和3年介護保険制度改定に於いては、被保険者の範囲の引き下げ、居宅介護支援費の自己負の担導入等多くの検討課題が見送られ、小幅な改正となる見込みですが、報酬改定に於いては、厳しい改定が予想されます。

このように、厳しい環境の中、3年前から取り組んできた外国人介護職員の受け入れが本年度より始まり、4月にはベトナム人留学生1期生2名がやはぎ苑に入職し、8月頃にはフィリピン人技能実習生1期2名が、くわがいに入職予定となっています。今後も、現場の負担を考慮しながら、継続的に受け入れていく予定です。

こうした大きな社会・経済情勢の変化の影響を受けつつも、令和2年度は、職員及び法人の未来を見据え、

1 人材の確保と育成、2 収支バランスのとれた施設運営、3 施設・設備・環境の整備充実、4 ケア内容の質的向上を事業目標に掲げ、全力で取り組んでまいります。



令和2年 4月1日
やはぎ苑 新人職員 辞令交付式

～『くわがい』が大切にしていること～

施設長 藤城みさき

令和2年6月で当施設は17年目を迎えようとしています。これまで、ご利用者やご家族に少しでも満足していただけるサービスの提供、職員が働きやすい職場環境づくり、そして、安定した経営を行うことを念頭に努力を重ねてまいりました。

当施設の「当たり前の、ごく普通の生活を送っていただきたい」という運営方針は、職員の採用面接時に応募者から、「共感した」とのご意見をいただくことがあります。施設がご利用者のお住まいとして、誰にも気兼ねなく、安心して過ごしていただけることが私たちの願いです。

また、ケアの方針は「湯ったり、湯っくりの入浴ケア」「自分で食べることを大切にしたい食事ケア」「できるだけトイレで行う排泄ケア」の3つを掲げています。職員がご利用者の思いに寄り添い、その方が望むケアを提供することで介護技術が活かされます。思いに寄り添うというのは容易いことではありません。職員は人生の先輩であるご利用者から学ばせていただくことも多々あります。これからも、ご利用者お一人お一人に合わせた介護技術の提供を行い、ケアの質的向上を目指していきます。

また、当施設は今年度、フィリピンからの技能実習生を受け入れる予定です。昨年度に引き続き、介護人材の確保・育成に力を注ぐと同時に介護記録の簡素化を目指し、業務改善を行っていきます。

このくわがいの豊かな山々に包まれた環境は利用者や職員を癒してくれます。これからも笑顔絶やさず、相手思いやる心をご利用者にのみならず、職員同士でも実践できるよう努力していきたいと思っております。

今後とも皆様からのご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



2020年度 新人紹介



- *****
- ① 大竹 光子 (オオタケ ミツコ)
 - ② ケアハウス 生活相談員
 - ③ 釣り・ドライブ・料理
 - ④ 安心して何でも話して頂けるよう頑張ります。ご指導よろしくお願ひします。



- *****
- ① 名前
 - ② 配属先
 - ③ 趣味 特技
 - ④ 今後の抱負



- *****
- ① ハ ティ ディエム クイン
 - ② やはぎ苑 介護職員
 - ③ 映画・音楽鑑賞 旅行
(お金をためて旅行に行きたいです。)
 - ④ ゆっくりと丁寧に優しく対応して施設に笑顔をつくりだせる介護士になりたいです。



- *****
- ① フン ティ トウイ
 - ② やはぎ苑 介護職員
 - ③ 料理 掃除
 - ④ 2年間勉強したことをやはぎ苑で実行していきたいです。入居者の方が安心・安全で幸せな生活が送れる介護士になりたいです。

2020年度 新人紹介



- ① 松浦 由依 (まつうら ゆい)
② くわがい 管理栄養士
③ 読書・舞台観劇
④ 仕事をしっかり覚え、おいしい食事を届けられるように頑張ります。



- ① 石津 政宗 (いしづ まさむね)
② くわがい 介護職員
③ ツーリング・ゲーム 英語
④ 介護未経験なので、仕事をしっかり学んで、力になれるように頑張っていきたいと思います。



- ① 榑原 健 (さかきばら けん)
② くわがい 調理員
③ 家庭菜園
④ 楽しい食事の一助となれるように頑張ります。



- ① 山口 五月 (やまぐち さつき)
② 第二やはぎ苑 介護職員
③ 田舎料理を作るのが得意です。
④ 瑞穂会の一員として、穏やかに柔らかい雰囲気大切に、勤めていきます。よろしくお願ひします。

『くわがい喫茶シャボン玉』

当施設の喫茶は、前理事長である石川新平が地域とくわがいにお住まいの方や利用者の方々や職員を繋げる場として、平成十六年の施設開所と同時にオープンしました。喫茶の入り口を施設の玄関とは別に設けたのは、地域の方が気軽に足を運んでいただけるようにと考えたからです。また、喫茶の内装は全体的に落ち着いたダーク調で統一されており、目にも優しい空間が広がっています。

喫茶担当の職員は岡崎の歴史に知見があるので、時折、喫茶店が回想法の実践となっているかのような光景がみられます。地域の方の多くは、喫茶を憩

いの場として利用していただき、グラウンドゴルフの帰りや友人同士のお茶タイムであったり、時には会合などにもご利用いただいております。

また、四年前から喫茶でオレンジカフェを行っています。



オレンジカフェは、くわがい職員が年間計画に沿って行い、時には東部地域包括支援センターや参加者の方にもご協力いただいております。職員はカフェを通じて皆様と認知症の知識や予防について共に学び、ご家族の介護について共に考え、ご自宅での生活が継続できるようにお手伝いさせて頂けたらと思っております。

これからも、『くわがい喫茶シャボン玉』が地域の方や、入居者・利用者の方々に美味しいコーヒーと、真のバリアフリーであるくつろぎの場を提供できるように努めてまいります。ご来店を心よりお待ちしております。

令和2年度くわがい喫茶シャボン玉

日時 年4回(6月・9月・12月・3月)
場所 くわがい喫茶シャボン玉
参加費 150円/1回(飲み物・お菓子代含む)

内容【1部】

認知症について学びましょう!

6月: 認知症って何?

病気について理解を深める

9月: これって認知症?

認知症に似た症状について

12月: 認知症と向き合おう

認知症にならない、なってからのこと

3月: 認知症と診断されたら

どこに相談したらいいの?

【2部】

転倒予防体操(6月、9月、12月、3月)

今年度もオレンジカフェ

『くわがい喫茶シャボン玉』を行います。

皆様のご参加をお待ちしております。

※現在、コロナウイルス感染症対策のため、カフェの開催を中止しております。開催予定は未定です。



かみさの家日記

グループホーム

かみさの家

1月22日

～新年会～

皆さんでビンゴ大会をし、豪華(?)景品を受け取りました。

おやつは高級和菓子を召し上がられ、「美味しい!」と喜ばれていました。



2月3日

～節分祭～



「鬼は外、福は内」と、鬼の的にボールを投げ、鬼退治をしました。
おやつは豆の代わりに、甘納豆を頂きました。
年の数だけ、、、は流石に食べられなかったようです。



3月12日

～ジャガイモ植え～

畑にジャガイモの種を植えました。
6月の収穫が今から楽しみです。
大きく、美味しく育ちますように。



第二やはぎ苑

運営推進会議を年に6回開催しています。



運営推進会議とは...

地域密着型の事業者が、利用者・地域住民・市職員などに対し、施設を知っていただき、地域と「連携」をしていくための会議です。

第二やはぎ苑、第三やはぎ苑、小規模多機能が合同で、年に6回開催しています。

今年度の会議

【第1回（1年5月23日）】
サービス紹介、会議の予定

【第2回（1年7月25日）】
現状報告、防災計画

【第3回（1年9月26日）】
現状報告、
多機能サービス評価

【第4回（1年11月28日）】
多機能サービス評価

【第5回（2年1月23日）】
現状報告、
レジオネラ感染予防

【第6回（文書報告）】
年度振り返り、来年度計画

会議の参加者

地区の民生委員・福祉委員、町総代、老人会、地域住民、包括支援センター員、小学校長、市介護相談員、地元農家、施設職員など



レジオネラ感染予防



噴水や循環型浴槽など、水が溜まる場所で増殖し、レジオネラ肺炎を引き起こし、免疫が低下した人では、命に関わる場合もある。高齢者施設では、超音波式加湿器が発生原因になることがあり、厚生労働省からも注意喚起がされている。

第二・第三やはぎ苑での対応

- 設置** 共用部に大型加湿器を設置する。
各居室は、洗面器に水を張って加湿する。
- 清掃** 取扱説明書に従い、加湿器の清掃を徹底する。
浴室や排水溝の定期的な清掃をする。



正しい知識を持ち、ご入居の皆さんを、感染症からお守りしていきます。

小規模多機能 やはぎ苑

日頃より小規模多機能やはぎ苑の活動にご理解、ご協力頂きありがとうございます。
小規模多機能やはぎ苑においても新型コロナウイルス対策として、送迎前の検温の実施
や手洗い・消毒の徹底等感染防止に努めて行きたいと思っております。

2月3日矢作北小学校の保健委員会の児童の皆さんが『おじいさん、おばあさんを楽
しませてあげたい』と訪問していただきました。



初めは緊張気味の児童さん達も・・・



手品や



肩たたきや



『パブリカ』を振り付きで歌ってくれました。

初めは緊張してどう接してよいか戸惑いも見受けられましたが、職員が仲立ちをしながら
次第に笑顔溢れる交流ができました。利用者の方々も児童さんとのふれあいではいつも以上に
穏やかな表情や笑顔で喜んでみえました。また、後日児童さん達の感想をお便りにて拝見する
と、『耳の遠い方には声だけではなく動きを付けて伝えることができた』『これまでに味わった
ことのないほどいい気分になれ、人の為になんかできた！』との感想が聞かれました。

利用者の方たちへは楽しい時間を作っていたいただき、児童の皆さんには高齢者への接し方や認知
症への理解が深まる良い機会となったことを感謝しております。

小規模特別養護老人ホーム

第三やはぎ苑

第三やはぎ苑が開設して4年目を迎えようとしておりますが、新型コロナウイルスの影響で、入居者様・ご家族様には寂しい思いをさせており、大変心苦しく感じております。

入居者様に於いては職員が関わりを持った対応に心掛け、しっかりとお世話させていただきますのでご安心ください。

施設内の中で、レクリエーション等を行い、楽しい時間を過ごせるように努めてまいります。

雛祭

— みんなで衣装を作って写真を撮りました —



3年目の桜が咲きました。
私達と共に成長しております・・・



ご迷惑をおかけして申し訳ありません

新型コロナウイルス感染症予防対策として、瑞穂会も厚生労働省の指針に沿い、「やはぎ苑・グループホームかみさの家」「くわがい」「第二やはぎ苑」「第三やはぎ苑」全ての施設において緊急やむを得ない場合を除き、面会をお断りしています。ご迷惑をおかけして申し訳ありませんが、ご家族様のご理解とご協力のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

尚、入居者様のご様子を心配されているご家族様には、各施設にて電話でお答えしますので、お尋ねください。

▲ 介護施設・事業所で新型コロナウイルスの感染拡大を防止するために

- 1 手洗いや手拭い等の徹底**
施設、利用者さんだけでなく、職員も手洗いを徹底し、マスクの着用を徹底してウイルスの感染を防ぎます。
- 2 共有物の消毒 / 感染防止対策の徹底**
 - 共有物の消毒は、消毒薬を適切に使用し、消毒の効果が持続するようにします。
 - 共有物の消毒は、消毒薬の成分が有害な場合は、消毒の効果が持続しないことを注意し、適切な消毒薬を使用します。
- 3 面会の制限**
面会が緊急やむを得ない場合を除き、制限するようにします。緊急な場合は、面会がなくても済むようにします。緊急な場合は、面会がなくても済むようにします。
- 4 委託業者からの物品の受け渡しは全面で**
委託業者等からの物品の受け渡しは、全面的に受け渡すようにします。委託業者等からの物品の受け渡しは、全面的に受け渡すようにします。

※施設、利用者さん、職員さん、ご家族様、ご近所の方へ、新型コロナウイルスの感染拡大を防止するために、手洗いや手拭い等の徹底をお願いします。

- 手洗いの徹底をお願いします。
- 共有物の消毒は、消毒薬の成分が有害な場合は、消毒の効果が持続しないことを注意し、適切な消毒薬を使用してください。
- 共有物の消毒は、消毒薬の成分が有害な場合は、消毒の効果が持続しないことを注意し、適切な消毒薬を使用してください。

「ありがとうございました。」

ご寄付・ご寄贈 (令和2年一月～三月)

* 産土 長瀬の会 様

編集後記

新型コロナウイルスの感染拡大で、店頭からマスクが消え、一時トレントペーパーまでも店頭から消えてしまいました。この騒動の発端は無責任なデマによるものでした。世の中が非常事態に陥っている時は、こうしたデマや流言

飛語が飛び交うものだそうですが、通信手段が格段に発達した現代では、デマの伝わるスピードも範囲の広さも昔と比べものにならないくらいあっという間に広まりました。実際に近所のスーパーでも昼まで積まれていたトレントペーパーが夕方には店頭から消えてしまったそうです。自分も、デマだと分かっているにもかかわらず、目の前で買い占めている光景を見れば不安を感じ買ってしまうかもしれません。

この様に、あふれんばかりの情報が、しごく手軽に入手出来るしてしまう現代では、如何に多くの情報を得るかという事ではなく、情報を選択する能力、活用する能力を身に付けることがますます重要になっています。